

五戸総合病院での研修を終えて

令和5年8月

八戸赤十字病院 研修医 佐藤碧美

令和5年7月24日から8月18日までの約1か月間、五戸総合病院で研修させて頂きました八戸赤十字病院2年次研修医の佐藤碧美です。この度は1か月間という大変短い期間ではありましたが、地域医療研修として快く受け入れてくださり本当に有難うございました。

地域医療研修では、外来診療、手術、病棟管理から施設往診まで地域研修ならではの経験をさせて頂きました。

内科外来診療では、糖尿病や高血圧などといった生活習慣病を診る機会が多く、その患者さんの多さを実感し、診療の重要性を実感しました。また産婦人科外来診療では主に検診での手技を学ばせていただき、大変勉強になりました。

病棟管理に関しましては、普段の研修では急性期の患者さんの一部分しかみることはできず、転院後の管理を学ぶ機会は今までほとんどありませんでしたが、五戸総合病院ではリハビリや治療を継続して施設や自宅への退院を目指す方からお看取りを含めた緩和医療を行っている方まで様々な患者さんへの対応を学ぶことができました。施設往診ではなかなか病院に通うことができない患者さんについて、取り巻く環境を知り、住み慣れた地で医療を受けることができることの大切さを痛感しました。また、本来の家のように患者さんに生活していただくために配慮された建物の作りや、スタッフの方々の気遣いに大変感銘を受けました。

今回研修を受けるにあたって安藤先生をはじめ、井戸川先生、他科の先生方、看護師さん、技師さん含めスタッフの方々には沢山のご指導頂き、大変お世話になりました。1か月間という大変短い期間ではありましたが、地域医療のあり方について考えなおす実りのある研修となりました。残りの研修生活も日々精進していきたいと思っております。この度は研修を受け入れていただき、ありがとうございました。